### 2023 年 4 月期 決算短信 (2022 年 10 月 9 日~2023 年 4 月 8 日)

2023年5月18日

ファンド名 SMDAM 日経225上場投信

上場取引所 東証

コード番号 1397

売買単位 1口

連動対象指標 日経平均株価

主要投資資産 株式

管 理 会 社 三井住友 DS アセットマネジメント株式会社

U R L https://www.smd-am.co.jp/

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 猿田 隆

問合せ先責任者 (役職名) 投信ドキュメンテーション部長 (氏名) 土屋 裕子 (TEL)03(6205)1652

有価証券報告書提出予定日 2023年7月5日 分配金支払開始日 2023年5月17日

### I ファンドの運用状況

1. 2023 年 4 月期の運用状況 (2022 年 10 月 9 日~2023 年 4 月 8 日)

### (1)資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資產	<b>差</b>	現金・預金・その (負債控除	の他の資産 後)	合計(純資産	<u> </u>
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023 年 4 月期	89, 323	98. 6	1, 230	1.4	90, 553	100.0
2022年10月期	87, 106	99. 6	365	0. 4	87, 471	100. 0

#### (2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数 (①)	設定口数 (②)	交換口数 (③)	当計算期間末 発行済口数(①+②一③)
	千口	千口	千口	千口
2023 年 4 月期	3, 197	896	832	3, 261
2022年10月期	3, 062	1, 747	1, 611	3, 197

#### (3) 基準価額

	総資産(①)	負債(②)	純資産(③) (①-②)	1 口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	Э
2023 年 4 月期	91, 614	1, 060	90, 553	27, 764
2022 年 10 月期	88, 436	965	87, 471	27, 357

### (4) 分配金

	1口当たり分配金	
2023 年 4 月期 2022 年 10 月期		⊞ 295 262

### 2. 会計方針の変更

(1) 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

: 有•無

(2)(1)以外の会計方針の変更

: 有•無

# Ⅱ 財務諸表等

# SMDAM 日経225上場投信

## 1【財務諸表】

## (1)【貸借対照表】

		(単位:円)
	第 15 期 (2022 年 10 月 8 日現在)	第 16 期 (2023 年 4 月 8 日現在)
資産の部		
流動資産		
金銭信託	17, 019, 591	23, 730, 341
コール・ローン	462, 506, 829	1, 255, 416, 096
株式	87, 106, 021, 200	89, 323, 135, 000
派生商品評価勘定	35, 436, 000	9, 265, 900
未収配当金	750, 857, 000	890, 642, 064
前払金	-	8, 968, 900
差入委託証拠金	64, 860, 000	103, 320, 000
流動資産合計	88, 436, 700, 620	91, 614, 478, 301
資産合計	88, 436, 700, 620	91, 614, 478, 301
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	_	17, 441, 200
前受金	44, 399, 000	-
未払収益分配金	837, 723, 778	962, 174, 655
未払受託者報酬	23, 696, 198	23, 070, 110
未払委託者報酬	42, 653, 203	41, 526, 243
未払利息	550	303
その他未払費用	17, 191, 753	16, 442, 208
流動負債合計	965, 664, 482	1, 060, 654, 719
負債合計	965, 664, 482	1, 060, 654, 719
純資産の部		
元本等		
元本	63, 165, 012, 345	64, 433, 085, 795
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	24, 306, 023, 793	26, 120, 737, 787
(分配準備積立金)	1, 212, 810	2, 981, 392
元本等合計	87, 471, 036, 138	90, 553, 823, 582
純資産合計	87, 471, 036, 138	90, 553, 823, 582
負債純資産合計	88, 436, 700, 620	91, 614, 478, 301

## (2)【損益及び剰余金計算書】

		(単位:円)
	第 15 期 自 2022 年 4 月 9 日 至 2022 年 10 月 8 日	第 16 期 自 2022 年 10 月 9 日 至 2023 年 4 月 8 日
営業収益		
受取配当金	919, 852, 450	1, 045, 196, 464
受取利息	6, 047	3, 488
有価証券売買等損益	1, 921, 883, 023	1, 531, 884, 962
派生商品取引等損益	△48, 289, 700	36, 205, 500
その他収益	23, 086	25, 421
営業収益合計	2, 793, 474, 906	2, 613, 315, 835
営業費用		
支払利息	236, 959	226, 313
受託者報酬	23, 696, 198	23, 070, 110
委託者報酬	42, 653, 203	41, 526, 243
その他費用	17, 207, 827	16, 459, 470
営業費用合計	83, 794, 187	81, 282, 136
営業利益又は営業損失(△)	2, 709, 680, 719	2, 532, 033, 699
経常利益又は経常損失(△)	2, 709, 680, 719	2, 532, 033, 699
当期純利益又は当期純損失 (△)	2, 709, 680, 719	2, 532, 033, 699
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は一部交換 に伴う当期純損失金額の分配額(△)	-	_
期首剰余金又は期首欠損金 (△)	22, 831, 178, 562	24, 306, 023, 793
剰余金増加額又は欠損金減少額	12, 953, 027, 655	6, 563, 256, 450
当期一部交換に伴う剰余金増加額又は欠損金減少 額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少 額	12, 953, 027, 655	6, 563, 256, 450
剰余金減少額又は欠損金増加額	13, 350, 139, 365	6, 318, 401, 500
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加 額	13, 350, 139, 365	6, 318, 401, 500
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加 額	-	_
分配金	837, 723, 778	962, 174, 655
期末剰余金又は期末欠損金(△)	24, 306, 023, 793	26, 120, 737, 787

## (3)【注記表】

### (重要な会計方針の注記)

	大云川 刀刈(ひ)住山)	
		第 16 期
	項目	自 2022年10月9日
		至 2023 年 4 月 8 日
1.	有価証券の評価基準及び評	株式は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。
	価方法	
		(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券
		金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等
		の最終相場に基づいて評価しております。
		(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券
		金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業
	者、銀行等の提示する価額(ただし、売気配相場は使用しない)、価格情報	
		提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。
		(3) 時価が入手できなかった有価証券
		直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断し
		た場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める
		評価額により評価しております。
2.	デリバティブの評価基準及	先物取引
	び評価方法	個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたって
		は、原則として、計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清
		算値段または最終相場によっております。

### (重要な会計上の見積りに関する注記)

会計上の見積りについて、翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクがある項目を識別していないため、 注記を省略しております。

## (貸借対照表に関する注記)

	15日	第 15 期	第 16 期
	項目	(2022年10月8日現在)	(2023年4月8日現在)
1.	. 当計算期間の末日におけ	3, 197, 419 □	3, 261, 609 □
	る受益権の総数		
2.	. 1単位当たり純資産の額	1 口当たり純資産額 27,357円	1 口当たり純資産額 27,764円

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

	第 15 期	第 16 期
項目	自 2022年4月9日	自 2022年10月9日
	至 2022年10月8日	至 2023年4月8日
分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後の配当等収益	計算期間末における費用控除後の配当等収益
	(836, 087, 396 円) および分配準備積立金	(963, 943, 237 円) および分配準備積立金
	(2,849,192円) より、分配対象収益は	(1, 212, 810 円)より、分配対象収益は
	838,936,588円(1 口当たり262.37円)であ	965, 156, 047円(1 口当たり 295. 91円)であ
	り、うち837,723,778円(1口当たり262円)	り、うち 962, 174, 655 円(1 口当たり 295 円)
	を分配金額としております。	を分配金額としております。

## (金融商品に関する注記)

## I. 金融商品の状況に関する事項

1. 金牌	融商品の状況に関する事項	
		第16期
	項目	自 2022年10月9日
		至 2023 年 4 月 8 日
1.	金融商品に対する取組方針	当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証
		券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対し
		て、投資として運用することを目的としております。
2.	金融商品の内容及び金融商	(1) 金融商品の内容
	品に係るリスク	1) 有価証券
		当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算
		期間については、株式を組み入れております。
		2) デリバティブ取引
		当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいており
		ます。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するこ
		と、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としておりま
		す。
		当計算期間については、先物取引を行っております。
		3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等
		(2) 金融商品に係るリスク
		有価証券およびデリバティブ取引等
		当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リス
		ク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性
		リスクがあります。
3.	金融商品に係るリスク管理	リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部
	体制	門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかか
		る、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタ
		リングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認
		等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果
		等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する会議をそ
		れぞれ設け、報告が義務づけられています。
		また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制につ
		いては、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限値、管理レベルおよび頻
		度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署
		では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連す
		- 5 -

る運用部署に是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用部署は、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。なお、投資信託協会の流動性リスク管理規制に抵触する場合には、流動性リスクを管理する会議で審議の上、流動性リスクの管理責任者が対処方針を決定します。その後、決定した対処方針やその実施等について、リスク管理会議に報告を行う体制となっております。

なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド(外部ファンド)を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する会議にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。

### Ⅱ. 金融商品の時価等に関する事項

	項目	第 16 期
		(2023 年 4 月 8 日現在)
1.	貸借対照表計上額、時価及	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上
	び差額	額と時価との差額はありません。
2.	時価の算定方法	(1) 有価証券 (株式)
		「重要な会計方針の注記」に記載しております。
		(2) 派生商品評価勘定(デリバティブ取引)
		デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載してお
		ります。
		(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等
		これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当
		該帳簿価額を時価としております。
3.	金融商品の時価等に関する	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異な
	事項についての補足説明	る前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバ
		ティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にか
		かる市場リスクを示すものではありません。

#### (有価証券に関する注記)

#### 売買目的有価証券

第15期(自2022年4月9日 至2022年10月8日)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	492, 147, 784 円
合計	492, 147, 784 円

#### 第16期(自2022年10月9日 至2023年4月8日)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額	
株式	1, 491, 846, 688 円	
合計	1, 491, 846, 688 円	

(デリバティブ取引に関する注記)

第15期(2022年10月8日現在)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(単位:円)

					(十1元・11)
		契 約 額	等		
区 分	種類		うち	時 価	評価損益
			1年超		
	株価指数先物取引				
	買建				
市場取引	NK225 先物 0412月	1, 238, 264, 000	-	1, 273, 700, 000	35, 436, 000
	小計	1, 238, 264, 000	-	1, 273, 700, 000	35, 436, 000
	合 計	1, 238, 264, 000	_	1, 273, 700, 000	35, 436, 000

### 第16期(2023年4月8日現在)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(単位:円)

		契 約 額	等		
区 分	種類		うち	時 価	評価損益
			1年超		
	株価指数先物取引				
Lumer or I	買建				
市場取引	NK225 先物 0506月	2, 266, 455, 300	-	2, 258, 280, 000	△8, 175, 300
	小計	2, 266, 455, 300	-	2, 258, 280, 000	△8, 175, 300
	合 計	2, 266, 455, 300	_	2, 258, 280, 000	△8, 175, 300

#### (注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価の算定方法については以下のように評価しております。

1)原則として計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。

このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

- 2)株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

第16期

自 2022年10月9日

至 2023年4月8日

市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行われていないため、該当事項はございません。

### (その他の注記)

- I	第 15 期	第 16 期	
項目	(2022年10月8日現在)	(2023年4月8日現在)	
期首元本額	60, 490, 501, 425 円	63, 165, 012, 345 円	
期中追加設定元本額	34, 517, 852, 235 円	17, 711, 819, 370 円	
期中一部交換元本額	31, 843, 341, 315 円	16, 443, 745, 920 円	